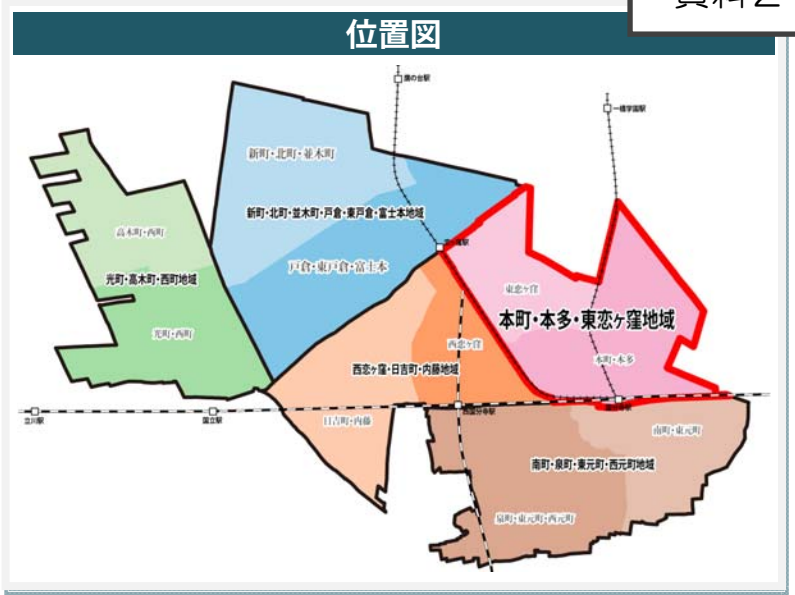


地域

本町・本多・東恋ヶ窪

<地域の概要>

- 本地域は、国分寺駅北側の位置する市東部の地域です。
- 国分寺駅北口には、飲食店を中心とした商店街が広がっていると同時に、再開発事業が進んでいます。
- 地域南西には日立製作所中央研究所が位置し、北西部には農地がまとまりを持って分布しています。



1. 地域の特徴

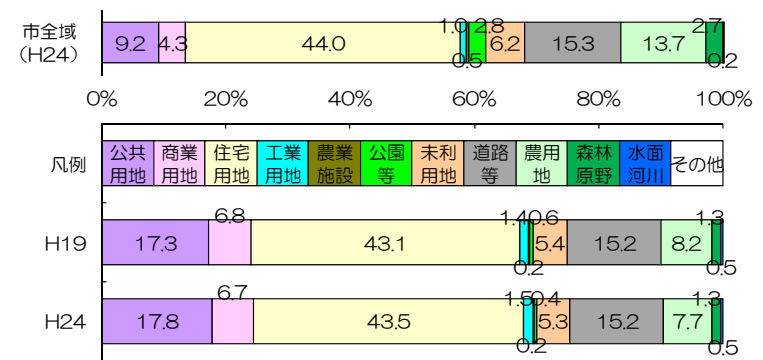
基礎情報

	市全域	地域	
		面積	市全域に対する割合
面積 (ha)	1,148	204	17.8%
市全体人口 (人)	111,121	114,936	118,035
人口 (人)	22,954	25,420	26,204
人口密度 (人/km ²)	11,252	12,461	12,845
人口割合 (%)	20.7	22.1	22.2
世帯数 (世帯)	11,524	12,795	13,268
世帯人員 (人/世帯)	2.0	2.0	2.0

資料：住民基本台帳（各年1月現在）

土地利用

- 本地域の土地利用は、住宅用地が約4割ですが、市全体よりは少ない傾向にあります。
- 商業用地は、市全体と比べて多くなっています。一方で、農地は、市全体と比べて少なくなっています。
- 住宅用地や公共用地が増加傾向にあり、農用地（農地・採草放牧地）が減少傾向にあります。



資料：土地利用現況調査

道路・交通基盤

- 地域内道路の7割弱が幅員6m未満となっており、狭い道路が多いです。
- 幹線道路（都市計画道路）は、国3・4・6号線と国3・4・11号線の整備が部分的であり、歩行者や自転車が安全に通行できる空間が少ないです。

緑・景観形成

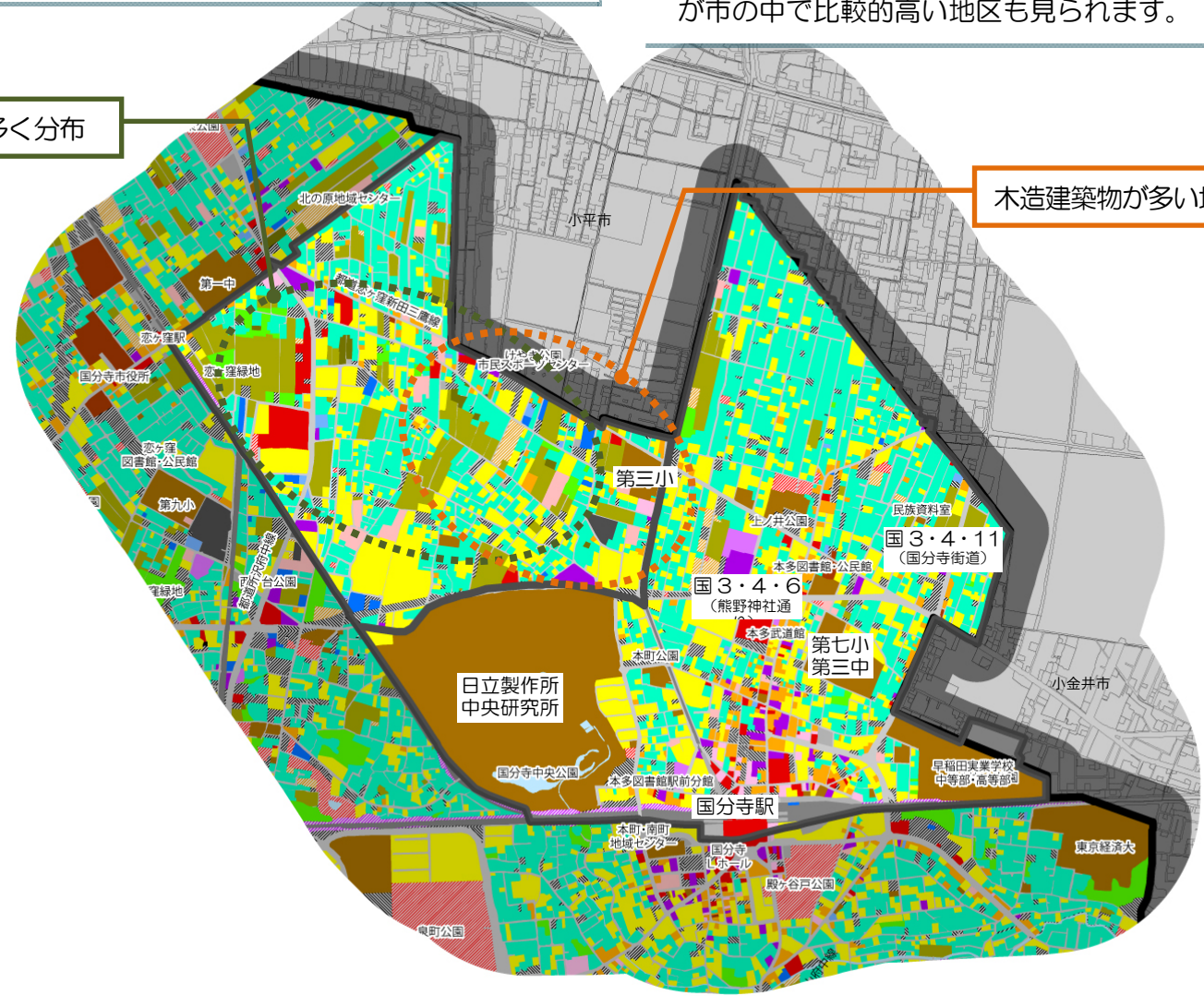
- 日立製作所中央研究所構内には、野川の水源があり、貴重な樹林が現存しています。
- 地域北西部には農地が比較的まとまって位置しています。

安全・安心のまちづくり

- 地区内の市立小・中学校は、地区防災センター・避難場所に位置付けています。
- 地区内は戸建て住宅が多くなっており、木造建築物の割合が市の中で比較的高い地区も見られます。

農地が多く分布

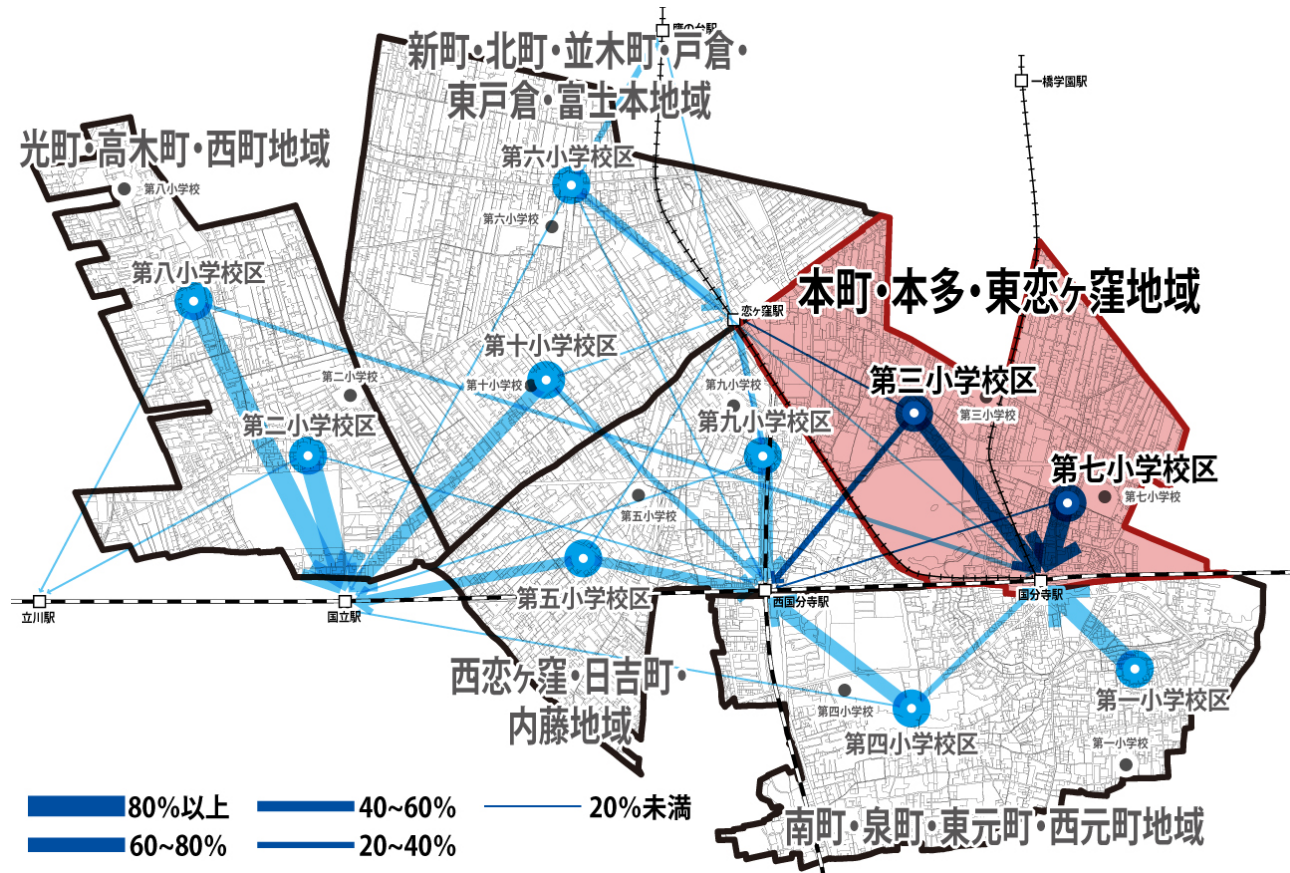
木造建築物が多い地区



2. 市民意識調査結果

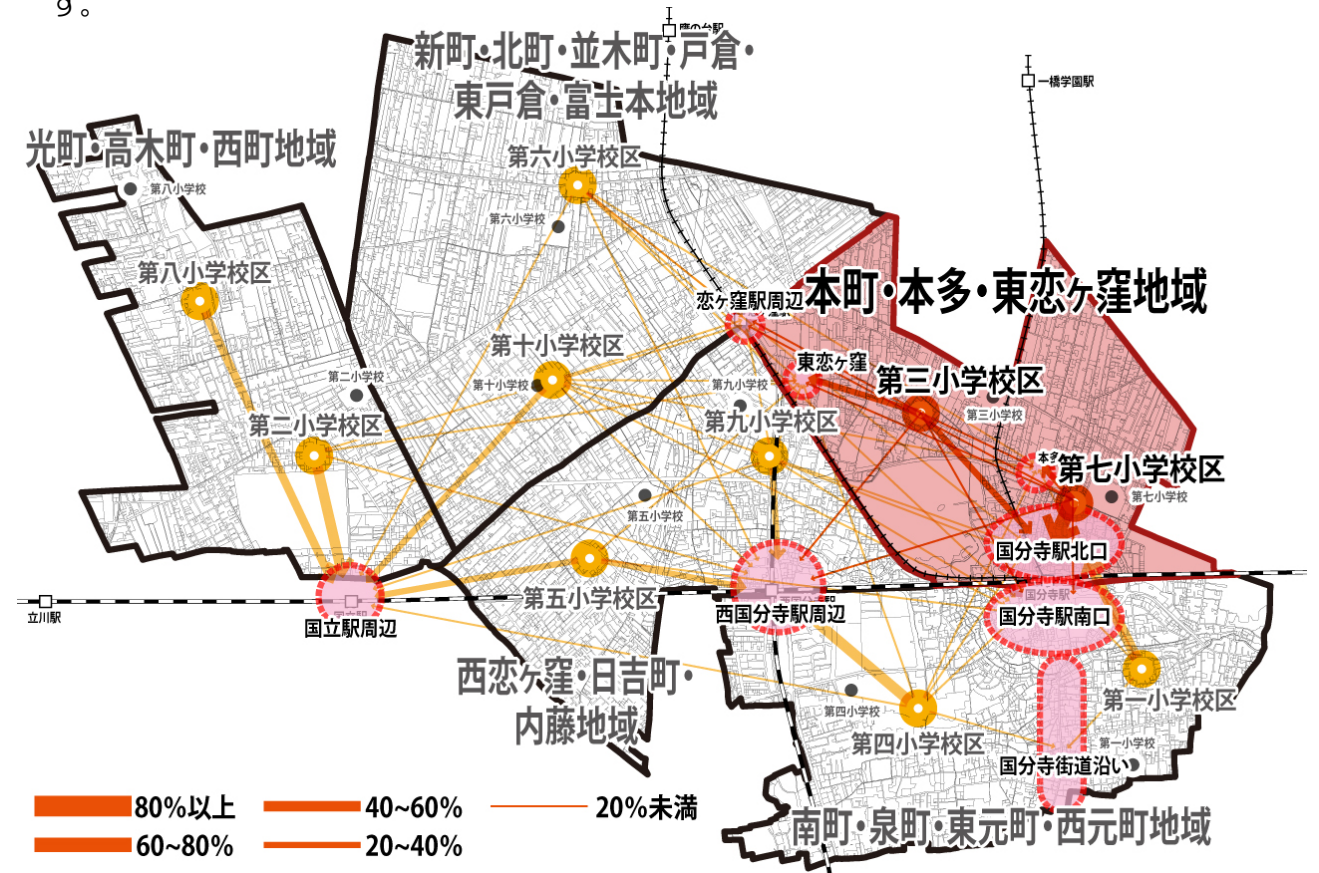
通勤時の駅利用状況

○本地域の通勤・通学に利用されている駅は、国分寺駅が非常に多くあり、特に、第七小学校区では8割を超えています。第三小学校区では西国分寺駅も利用が見られます。



日常的な買い物先の状況

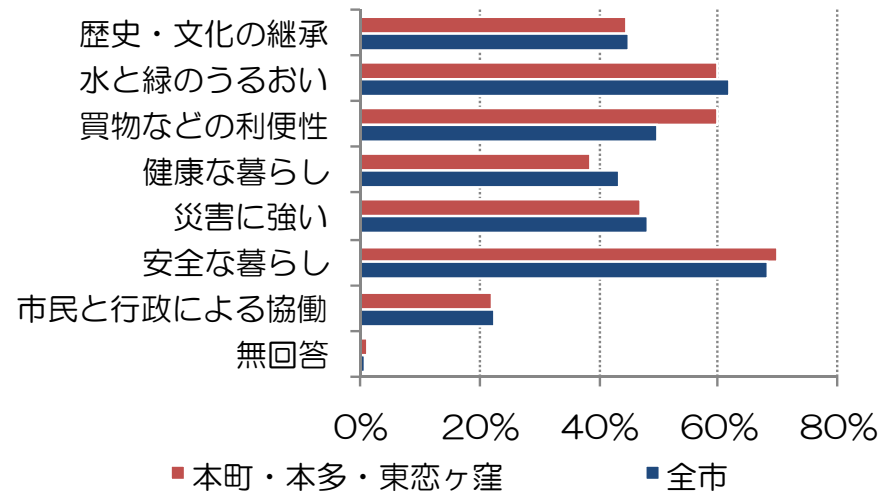
○本地域で日常的な買い物先は、第三小学校区では分散しているものの、国分寺駅北口や東恋ヶ窪が他の場所よりも多い傾向にあります。第七小学校区では、国分寺駅北口の利用者が多く見られます。



目指すまちのすがたとして重視すべきキーワード

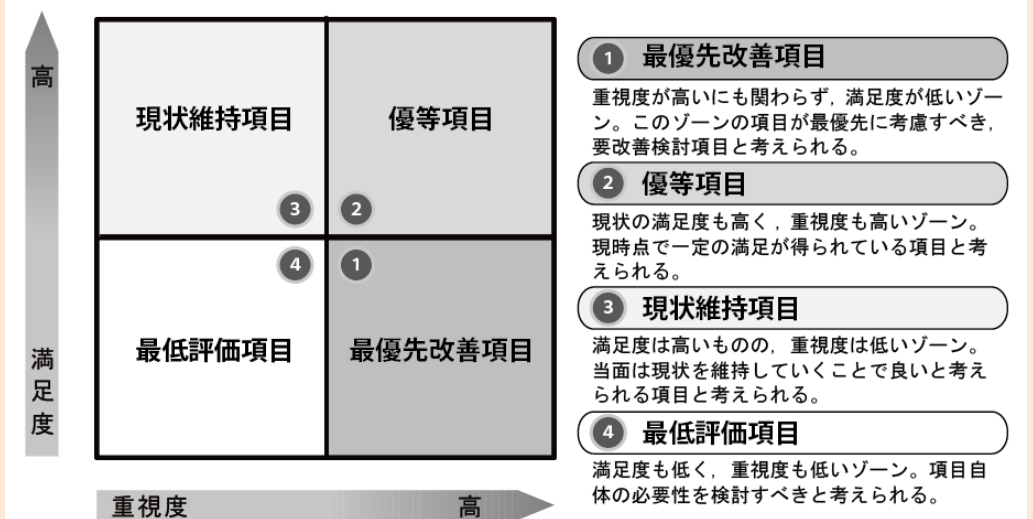
○重視すべきキーワードは、「安全な暮らし」、「水と緑のうるおい」、「買物などの利便性」が上位の項目です。

○全市と比較すると、同様の傾向を示しているものの、「買物などの利便性」は全市の割合よりも高い傾向にあり、「健康な暮らし」については低い傾向にあります。



満足度・重視度調査結果の見方（次頁）

○次頁で整理している各分野のまちづくりに対する満足度・重視度調査では、それらの結果を掛け合わせることで、改善点の抽出を行ない、改善施策立案・優先順位付けのための分析を実施しています。

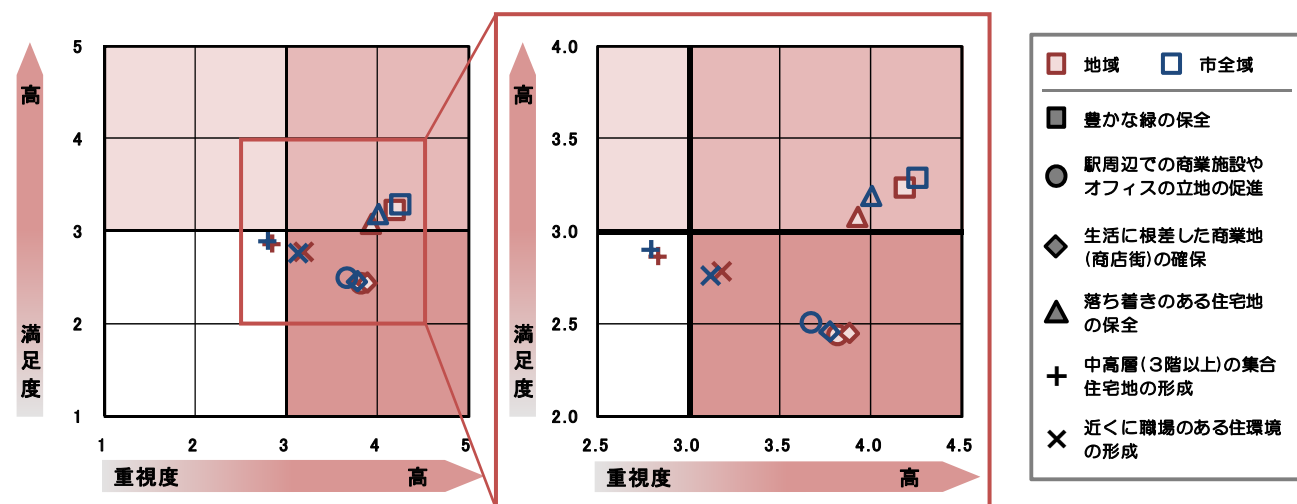


分野別まちづくりの満足度・重視度

土地利用

○本地域では、「近くに職場のある住環境の形成」、「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」、「生活に根差した商業地（商店街）の確保」が最優先改善項目です。

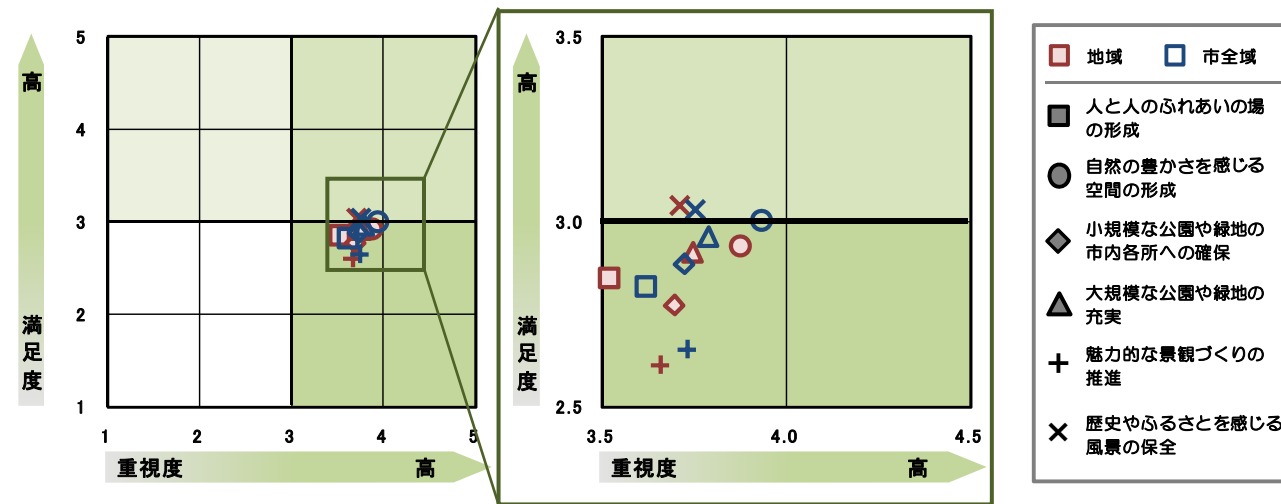
○重視度が最も高いのは、「豊かな緑の保全」、次いで「落ち着いた住宅地の保全」、「生活に根差した商業地（商店街）の確保」という順です。



緑・景観形成

○本地域では、「歴史やふるさとを感じる風景の保全」以外の5項目が最優先改善項目です。

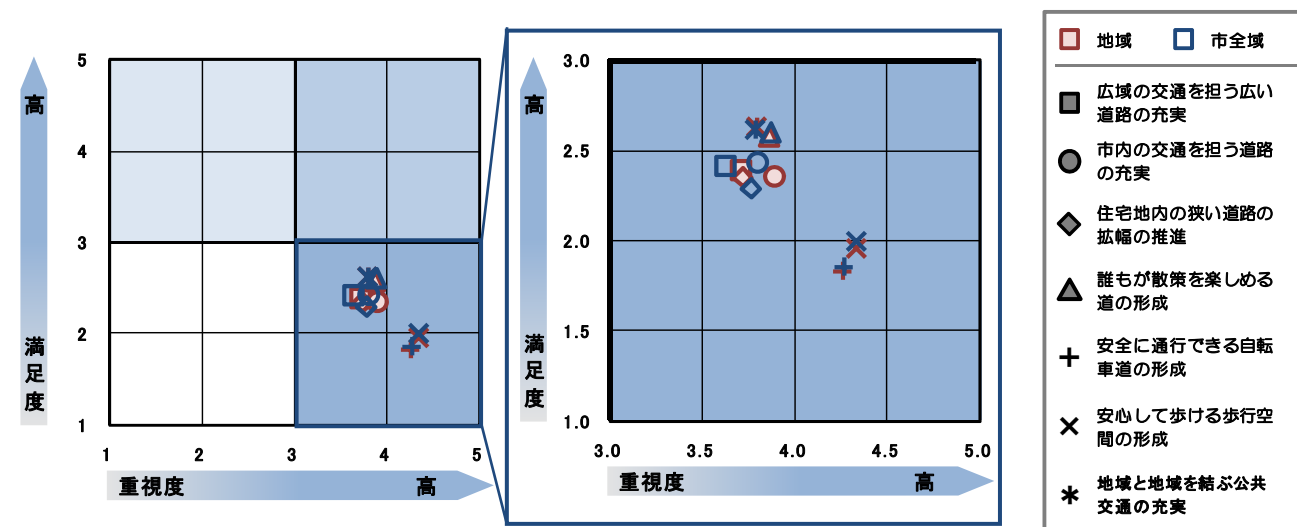
○重視度が最も高いのは、「自然の豊かさを感じる空間の形成」、次いで「大規模な公園や緑地の充実」、「歴史やふるさとを感じる風景の保全」という順です。「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」についても「歴史やふるさとを感じる風景の保全」と同程度の値です。



道路・交通基盤

○本地域では、全項目が最優先改善項目です。

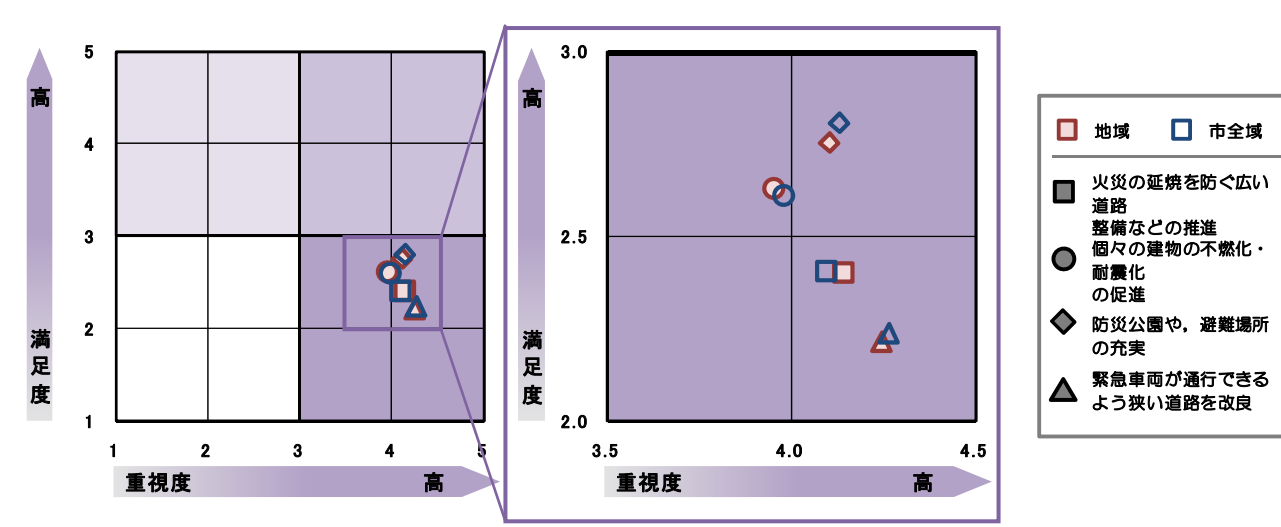
○重視度が最も高いのは、「安心して歩ける歩行空間の形成」、次いで「安全に通行できる自転車道の形成」、「市内の交通を担う道路の充実」、「誰もが散策を楽しめる道の形成」という順です。



安全・安心

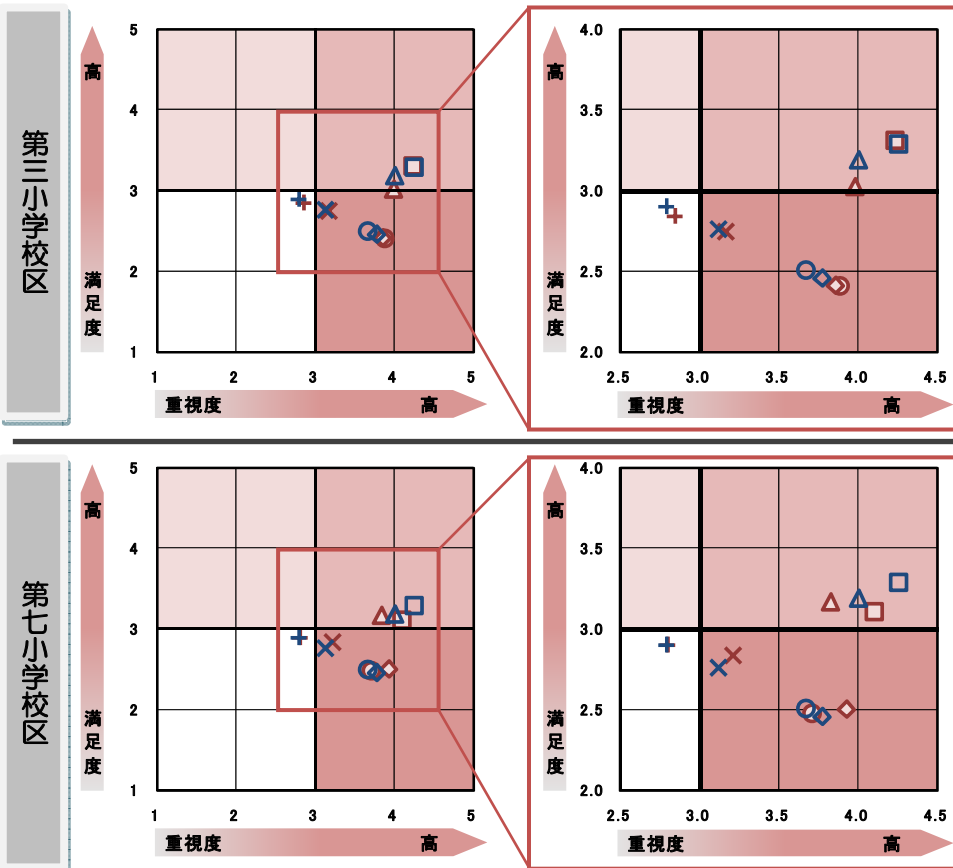
○本地域では、全項目が最優先改善項目です。

○重視度が最も高いのは、「緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良」、次いで「火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進」、「個々の建物の不燃化・耐震化の促進」、「防災公園や、避難場所の充実」、「緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良」という順です。



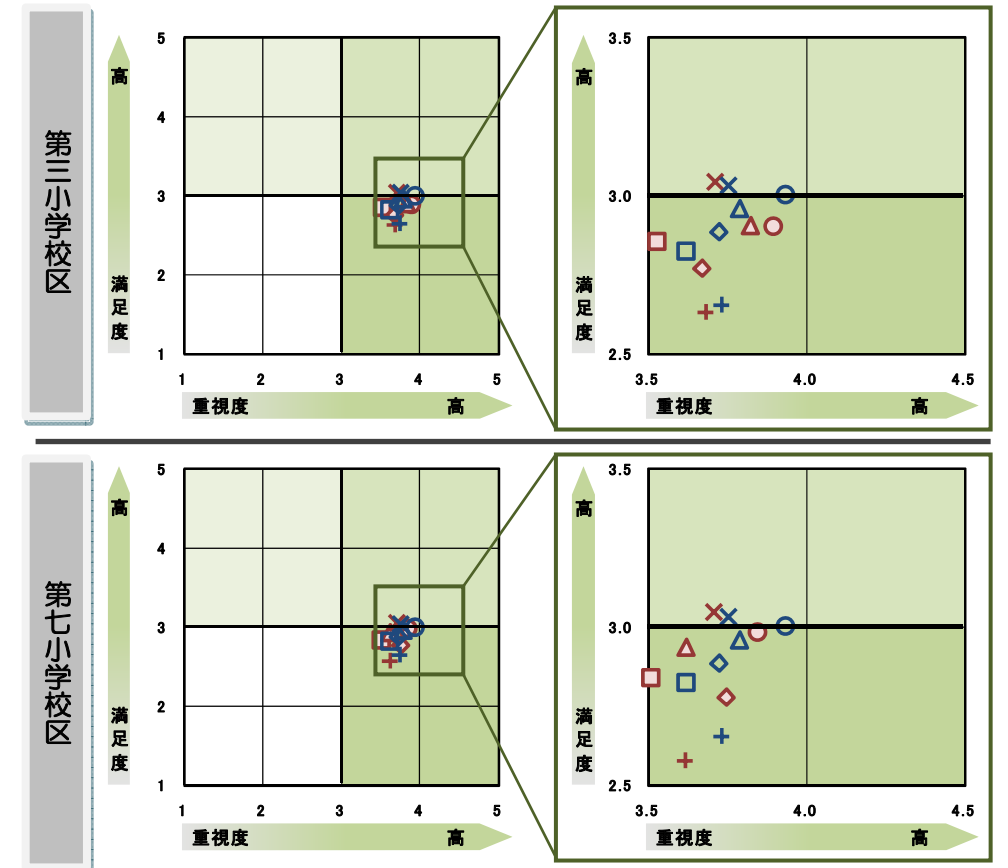
土地利用

- 地域 □ 市全域
- 豊かな緑の保全
- 駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進
- ◆ 生活に根差した商業地(商店街)の確保
- ▲ 落ち着いたある住宅地の保全
- +
- ×



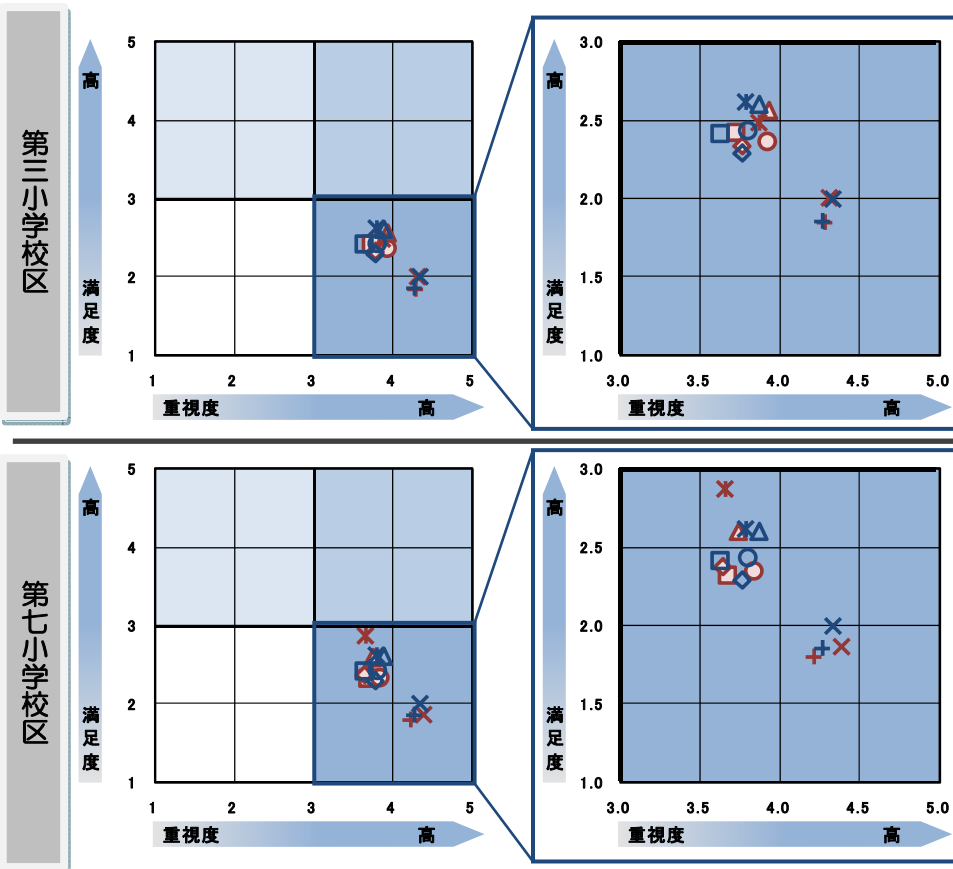
緑・景観形成

- 地域 □ 市全域
- 人と人のふれあいの場の形成
- 自然の豊かさを感じる空間の形成
- ◆ 小規模な公園や緑地の市内各所への確保
- ▲ 大規模な公園や緑地の充実
- +
- ×



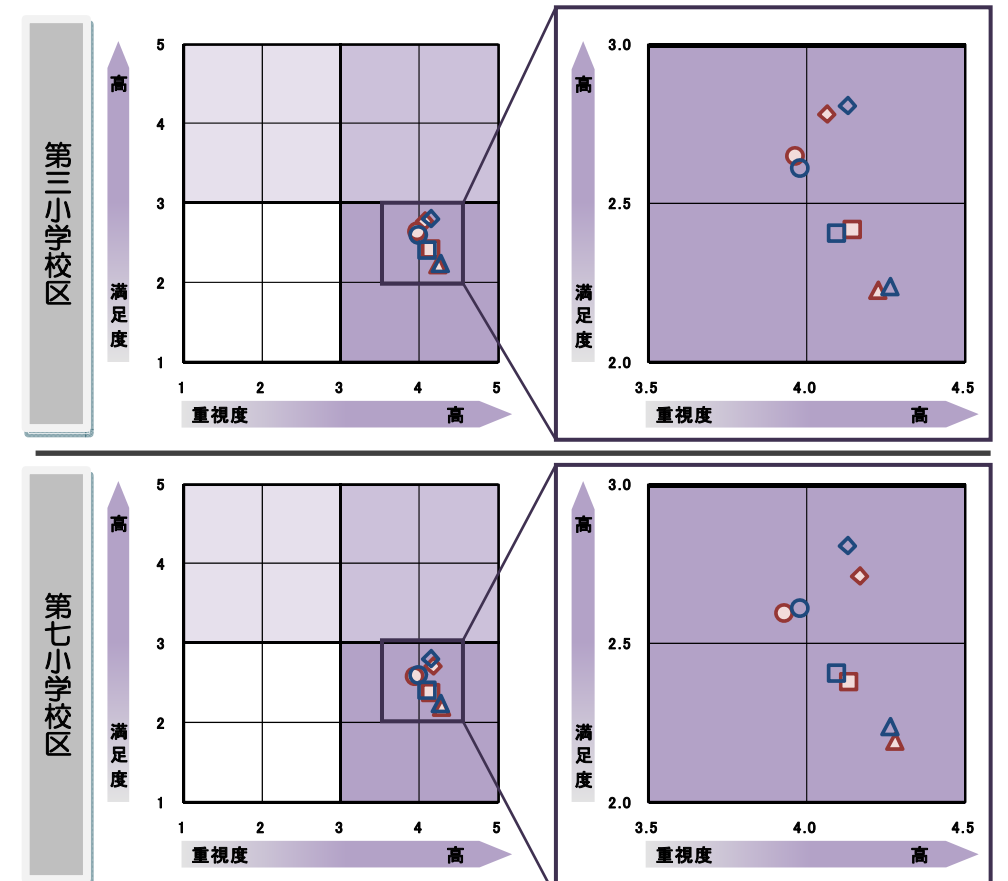
道路・交通基盤

- 地域 □ 市全域
- 広域の交通を担う広い道路の充実
- 市内の交通を担う道路の充実
- ◆ 住宅地内の狭い道路の拡幅の推進
- ▲ 誰もが散策を楽しめる道の形成
- +
- ×
- *



安全・安心

- 地域 □ 市全域
- 火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進
- 個々の建物の不燃化・耐震化の促進
- ◆ 防災公園や、避難場所の充実
- ▲ 緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良



3. 地域の課題と考えられるまちづくりの方向性

土地利用に関する課題と考えられるまちづくりの方向性

『豊かな緑の保全』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.18/市平均 4.26) 満足度 (3.23/市平均 3.29) 自由回答では、「緑の多い市にして欲しい」、「緑の保全に努めて欲しい」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 日立製作所中央研究所の北部に生産緑地^{※1}が多く分布しています。生産緑地は、緑豊かな住宅地を形成する重要な要素です。この生産緑地は、宅地転用で年々減少傾向にあります。 日立製作所中央研究所構内には、野川の水源があり、貴重な樹林が残されています。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 集約して分布する生産緑地は、本地域の緑を構成する要素であり「豊かな緑の保全」が求められていますが、今後の買取申請を行うことが可能となる時期^{※1}をきっかけに敷地が分割され、宅地開発による小規模宅地が発生し、緑が減少する可能性があります。 このため、緑豊かでゆとりある住環境を維持するための取り組みが必要です。 日立製作所中央研究所構内の樹林地は、野川の水源でもあり本市よっての貴重な樹林地です。 このため、現状の環境を維持するための取り組みが必要です。 	

『落ち着いたある住宅地の保全』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.92/市平均 4.00) 満足度 (3.08/市平均 3.19) 自由回答では、「住宅を増やしすぎないで欲しい」、「緑豊かな住環境が重要」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 日立製作所中央研究所の北部の第1種住居地域^{※2}・準工業地域^{※3}では、工業施設や商業施設の立地件数は少なくなっています。特に第1種住居地域の住宅は、住商併用住宅を含むと9.5割を超え、かつ生産緑地も分布しており、落ち着いたある住環境を形成しています。 市内の住宅の内、新耐震基準制定(昭和56年)より前に建築された住宅は約2割と耐震性に問題があります。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 都道恋ヶ窪新田三鷹線以北の第1種低層住居専用地域^{※4}には、良好な住環境を持つ住宅地があり、かつこの都道以南の第1種住居地域や準工業地域も、工業施設や商業施設は少なく、同様の住環境を持つ住宅地があり、多くの市民は「落ち着いたある住宅地の保全」を求めています。また、防災の観点から「個々の建物の不燃化・耐震化の促進」が求められていますが、第1種低層住居専用地域内には古く、耐火性の低い建物が多く分布しており、地震による倒壊、火災延焼による被害の拡大が懸念されます。 このため、落ち着いたある住環境を維持するため、現状の土地利用状況を考慮した適切な用途規制の実施と、災害に強い建物への更新を促進することが必要です。 	

『生活に根差した商業地(商店街)の確保』

『駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<p>【生活に根差した商業地(商店街)の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.88/市平均 3.77) 満足度 (2.45/市平均 2.46) <p>【駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.82/市平均 3.67) 満足度 (2.44/市平均 2.51) 自由回答では、「既存の商店街を活性化して欲しい」、「駅前開発の早期整備」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の商業店舗数は年々減少傾向にあります。 国分寺駅周辺は、本市の中心商業地であり、多くの商業施設が集積しています。また、都市生活・文化交流の拠点に位置付け、再開発事業を進めています。 国分寺駅北口では、再開発事業に加え、駅前広場を含む道路整備を進めています。
考察	
<ul style="list-style-type: none"> 「生活に根差した商業地の確保」に次いで「駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進」が求められ、特に、国分寺駅北口の再開発事業による商業地形成に大きな期待を寄せる自由回答も見られました。 このため、本地域では、都市生活・文化交流拠点として位置付ける国分寺駅北口地区の商業機能の充実を推進するとともに、本市の中心商業地として、特色ある商業地づくりが必要です。 また、国3・4・12号線、国3・4・6号線の整備に併せ、地域の生活を支える魅力的な商業地の形成も必要です。 	

市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

考えられるまちづくりの方向性

凡例

第1種低層住居専用地域	■
第2種低層住居専用地域	■
第1種中高層住居専用地域	■
第2種中高層住居専用地域	■
第1種住居地域	■
第2種住居地域	■
準住居地域	■
近隣商業地域	■
商業地域	■
準工業地域	■
工業地域	■
生産緑地	■
常備道路	—
都市計画道路(整備済)	—
都市計画道路(未整備)	---

『豊かな緑の保全』への対策

【対象】 生産緑地がまとまって分布するエリア

- ゆとりある住環境を維持するための土地の細分化の抑制
- 農地や緑の減少を抑制するまちづくりの推進

『落ち着いたある住宅地の保全』への対策

【対象】 第1種住居地域・準工業地域指定地区

- 現状の土地利用状況を考慮した適切な用途規制への変更
- 耐火性の高い建物へと建替の促進

『落ち着いたある住宅地の保全』への対策

【対象】 第1種低層住居専用地域指定地区

- 落ち着いたある住環境への更新を促す土地利用規制の適用
- 耐火性の高い建物へと建替の促進

『豊かな緑の保全』への対策

【対象】 日立製作所中央研究所地区

- 現状の環境を維持するための取り組み

『生活に根差した商業地の確保』への対策

【対象】 国3・4・12号線沿道地区、国3・4・6号線沿道地区

- 都市計画道路沿道での地域の生活を支える民間が主体となった魅力的な商業地となるまちづくりの推進

『駅周辺での商業施設やオフィスの立地の促進』への対策

【対象】 国分寺駅北口地区

- 国分寺駅北口での再開発を通じた都市生活・文化交流の拠点となり、都心居住を愉しめる複合市街地としてのまちづくりの推進

参考：本市と近隣市の卸売業・小売業事業所の推移

年	国分寺市	小金井市	小平市	立川市	国立市	府中市
平成3年	1,089	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
平成9年	897	900	900	900	900	900
平成14年	858	850	850	850	850	850
平成19年	808	800	800	800	800	800

資料：商業統計 (H3年、H9年、H14年、H19年)

※1：生産緑地とは、良好な都市環境の形成をはかるため、500㎡以上の農地で、農業と調和した都市環境の保全など良好な生活環境の確保に相当の効用があり、かつ、公共施設などの土地として適している一団の区域を指定している。

市内の生産緑地の多くは新制度となった平成4年に指定され、指定から30年を迎える平成34年には、所有者は市に対して買取の申請を行うことが可能となります。

※2：第一種住居地域とは、市街地の土地利用の方向性を定める用途地域の一つで、住居の環境を保護するため定める地域。

※3：準工業地域とは、主として環境の悪化をもたらすおそれのない工業の利便を増進するため定める地域。

※4：第一種低層住居専用地域とは、低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するため定める地域。

5

■『安心して歩ける歩行空間の形成』

『誰もが散策を楽しめる道の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<p>【安心して歩ける歩行空間の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.33/市平均 4.34) 満足度 (1.96/市平均 2.00) <p>【誰もが散策を楽しめる道の形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.86/市平均 3.87) 満足度 (2.58/市平均 2.60) <p>自由回答では、「歩道が狭い」、「安心して歩ける道路づくりを期待」、「駅を中心に歩いて楽しめるまちづくり」といった意見が見られました。</p>	<p>・都道が東西に1路線、南北に2路線、歩道も設置されていますが狭隘な道路です。</p> <p>・本地域では、幹線道路(都市計画道路)の整備は国3・4・6と国3・4・11が部分的にしか進んでおらず、歩行者が安全に通行できる歩道が十分ではありません。</p> <p>・国分寺駅は、交通結節点であり、周辺街路は多くの人々の利用が見られますが、駅北側の道路は、国3・4・5のみ整備済みです。</p>

考察

- 「安心して歩ける歩行空間の形成」が求められるものの、既設道路の幅員は狭隘で、安全に安心して歩くことのできる道路はありません。
- このため、**都市計画道路の整備によるゆとりある歩道の設置が必要です。**
- また、**駅周辺では、都市計画道路の整備を進めるとともに、再開発事業に伴う街路整備により、安全・安心に駅へアクセスができ、ショッピングが楽しめる道路整備が必要です。**

■『安全に通行できる自転車道の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.25/市平均 4.27) 満足度 (1.83/市平均 1.86) <p>自由回答では、「歩行者と自転車車が混在して危険」、「自転車のマナーが悪い」といった意見が見られました。</p>	<p>・都道が東西に1路線、南北に2路線、歩道も設置されていますが狭隘な道路です。</p> <p>・本地域では、幹線道路(都市計画道路)の整備は部分的にしか進んでおらず、自転車車が安全に通行できる空間が十分ではありません。</p> <p>・国分寺駅は、複数の鉄道がアクセスする交通結節点であり、通勤・通学、買物等に多くの駅アクセスが見られます。駅北口には、3,000台規模の自転車等駐車を整備し、多くの自転車需要に対応しています。</p>

考察

- 「自転車の安全な通行路の確保」が求められていますが、**既設道路の幅員は十分ではなく、自転車通行帯を確保することは困難**です。
- このため、**未整備都市計画道路の整備、国分寺駅へのアクセスを念頭においた自転車ネットワークの形成について検討することが必要**です。
- また、国分寺駅へのアクセスを念頭においた自転車ネットワークの形成には、都市計画道路以外の道路の活用も必要であり、**既存道路の道路幅員構成の再配分についても検討が必要**です。

■『市内の交通を担う道路の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.89/市平均 3.80) 満足度 (2.58/市平均 2.44) <p>自由回答では、「未整備道路の早期整備」、「駅までの道が狭い」といった意見が見られました。</p>	<p>・主な市内交通を担う道路は、都道所沢府中線・都道小川山府中線が南北にあります。いずれの路線も混雑が見られる道路です。</p> <p>・本地域を南北に結ぶ都市計画道路は、国3・4・11が一部整備されている他は未整備です。</p>

考察

- 本地域は、交通結節点である国分寺駅が地区南端に位置していますが、駅につながる道路はどれも狭く、駅までの道が狭いという意見が見られます。
- このため、国3・4・12、国3・4・6など、**国分寺駅へのアクセスを考慮した都市計画道路の整備・住宅地から主要な道路へ接続する住宅地内道路の幅員確保への取り組みが必要**です。
- また、市を南北に横断する都道所沢府中線・都道小川山府中線が混雑している現状を踏まえ、本地域では、**国3・4・11の未整備区間の整備を進めることも必要**です。

■考えられるまちづくりの方向性

『市内の交通を担う道路の充実』への対策

【対象】 主要な道路へ接続する住宅地内道路

- 住宅地内での壁面後退による道路幅員の確保の推進

『安心して歩ける歩行空間の形成』への対策

【対象】 都市計画道路(全路線)

- 幹線道路となる都市計画道路の整備の推進によるゆとりある歩行空間の確保

『安全に通行できる自転車道の形成』への対策

【対象】 都市計画道路(全般)

- 未整備都市計画道路の整備
- 国分寺駅へのアクセスを念頭においた自転車ネットワークの形成に向けた検討
- 既存道路の道路幅員構成の再配分の検討

『安心して歩ける歩行空間の形成』への対策

【対象】 国3・4・12号線

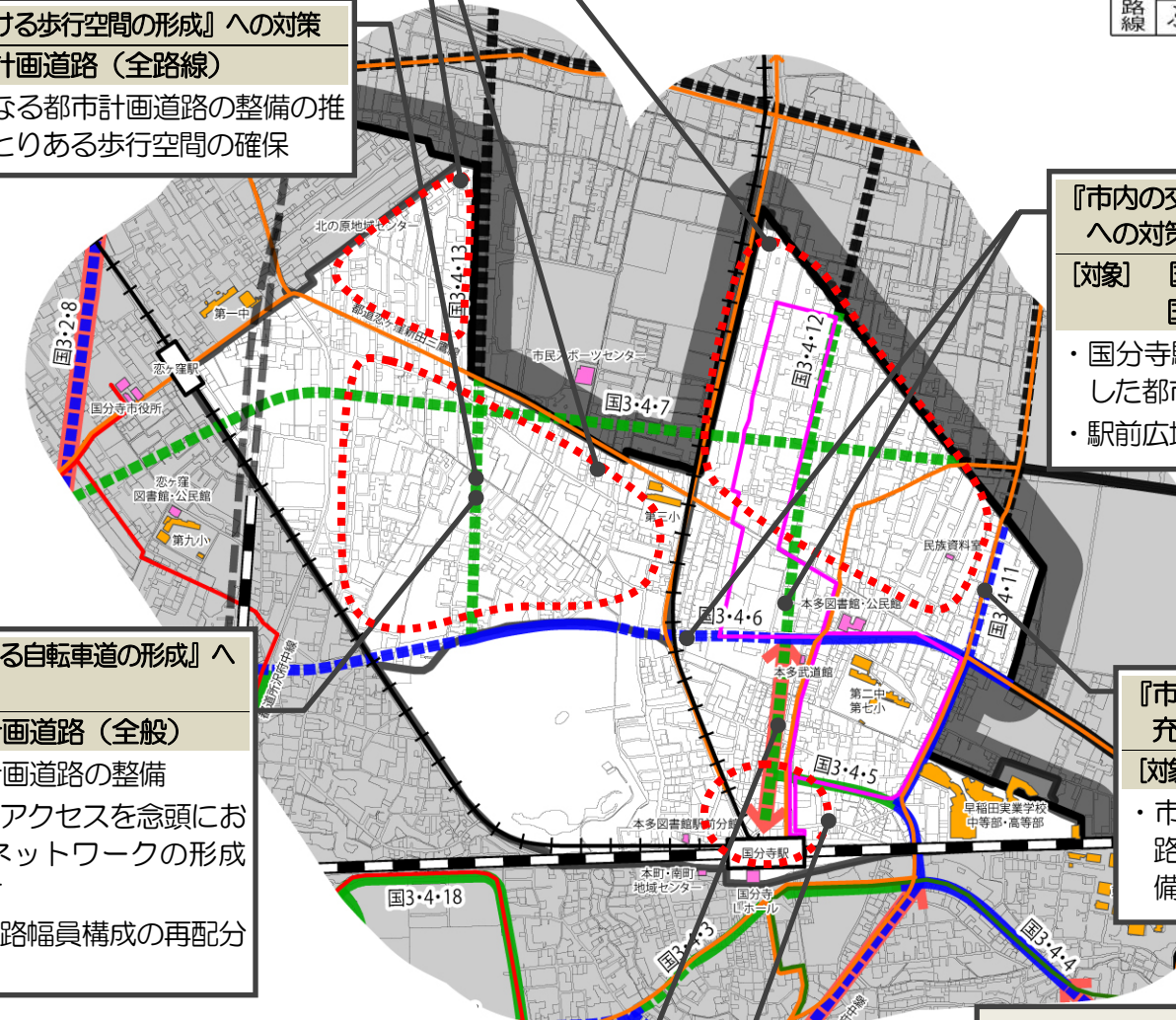
- 安全・安心に駅へアクセスができ、ショッピングが楽しめる道路整備

『安心して歩ける歩行空間の形成』への対策

【対象】 再開発事業に伴う街路

- 安全・安心に駅へアクセスができ、ショッピングが楽しめる歩行者優先の道路整備

凡例		
都道	—	
都市計画道路	主要幹線道路	
	整備済	—
	未整備	⋯
	地区幹線道路	
	整備済	—
	未整備	⋯
第三次事業化計画(優先整備路線)	↔	
バス路線	一般路線バス	—
	ぶんバス	—



『市内の交通を担う道路の充実』への対策

**【対象】 国3・4・12号線
国3・4・6号線**

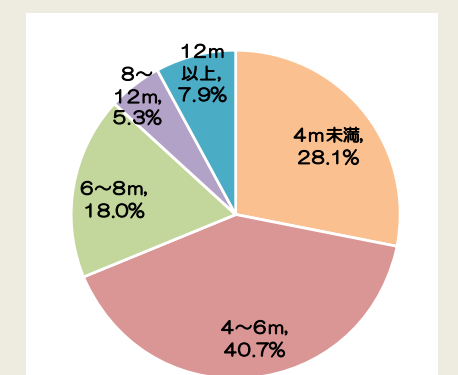
- 国分寺駅へのアクセスを考慮した都市計画道路の整備
- 駅前広場の整備

『市内の交通を担う道路の充実』への対策

【対象】 国3・4・11号線

- 市内の南北交通を担う道路として未整備区間の整備を促進

参考：本地域の道路幅員別延長割合



資料：平成24年度土地利用現況調査

『自然の豊かさを感じる空間の形成』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.87/市平均 3.93) 満足度 (2.94/市平均 3.01) 自由回答では、「緑の保全」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 日立製作所中央研究所構内には、<u>野川の水源地があり、貴重な樹林が残されています。</u> 日立製作所中央研究所の北、本多地区北部に生産緑地がまとまって分布していますが、<u>生産緑地は、宅地転用で年々減少傾向</u>にあります。

考察

- 生産緑地と住宅が一体となった景観、崖線の緑がある景観は、本市の景観特性のひとつとなっており、「自然の豊かさを感じる空間の形成」に大きく寄与しています。
- このため、住宅地における生産緑地については、減少を抑制し、崖線の緑は適切に保全し、豊かな緑がある景観を維持していくことが必要です。

『大規模な公園や緑地の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.75/市平均 3.79) 満足度 (2.92/市平均 2.96) 自由回答では、「大きな広場が欲しい」、「子どもが楽しく遊べる公園が欲しい」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備済の都市公園^{※1}は、けやき公園・恋ヶ窪緑地のみでその他の公園は未整備であり、<u>現状では本多地区等が公園誘致圏空白地域^{※2}となっています。</u> 地域には、<u>日立製作所中央研究所の北、本多地区北部に生産緑地がまとまって分布</u>しています。

考察

- 「大規模な公園や緑地の充実」が求められていますが、整備済の大きな都市公園はけやき公園のみです。
- このため、住民ニーズを踏まえつつ、未整備都市公園の整備を進めることが必要です。特に、国分寺中央公園は、本市の貴重な自然であり、日立製作所中央研究所敷地内ではあるものの、事業者と連携しつつ適切に管理・保全していくことが必要です。

『歴史やふるさとを感じる風景の保全』

『魅力的な景観づくりの推進』

市民意向	地域の現状
<p>『歴史やふるさとを感じる風景の保全』</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.71/市平均 3.75) 満足度 (3.05/市平均 3.03) <p>『魅力的な景観づくりの推進』</p> <ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.65/市平均 3.73) 満足度 (2.61/市平均 2.66) 自由回答では、「歴史文化を継承したまちづくり」、「歴史を生かしていない」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 日立製作所中央研究所内の野川水源地・恋ヶ窪用水等があり、これらは地域を特徴づける地域固有の資源です。 国分寺駅の北側は再開発事業が進んでおり、<u>新しい景観が形成</u>されます。

考察

- 「歴史やふるさとを感じる風景の保全」が求められている中で、日立製作所中央研究所内の野川水源地・恋ヶ窪用水は、地域の昔ながらの歴史的資源であるといえます。
- このため、野川水源地・恋ヶ窪用水を有効活用した景観まちづくりが必要であるほか、国分寺駅北口ではまちづくりを進める中で、市の玄関口として、魅力的な景観形成ができるよう配慮していくことも必要です。さらに植木の街として街路樹などの新たな緑を創出するため、都市計画道路の整備とともに、街路樹による並木道づくりも必要です。

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.70/市平均 3.72) 満足度 (2.77/市平均 2.89) 自由回答では、「駅北口に小さくても良いので公園が欲しい」、「子どもの遊べる場所の確保」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備済の都市公園^{※1}は、けやき公園・恋ヶ窪緑地のみでその他の公園は未整備であり、<u>現状では本多地区等が公園誘致圏空白地域^{※2}となっています。</u> 小規模公園・緑地が存在しますが、その土地は借地である場合が多く、<u>恒久性は担保されていません。</u>

考察

- 「小規模な公園や緑地の市内各所への確保」が求められていますが、多くの都市公園は未整備です。また、一方、日立製作所中央研究所の北、及び本多地区北部に生産緑地がまとまって分布しています。
- このため、住民ニーズを踏まえつつ、未整備都市公園の整備が必要です。また、都市計画決定されている都市公園が全て整備された場合でも、日立製作所中央研究所の北、本多地区に公園誘致圏空白地域が残存するため、公園の配置について検討することが必要です。

市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

考えられるまちづくりの方向性

『自然の豊かさを感じる空間の形成』への対策
【対象】 生産緑地地区
 ・生産緑地等の農地の減少を抑制する取り組みを進め、市の特色ある自然の豊かさを感じることのできる景観の保全

『歴史やふるさとを感じる風景の保全』への対策
【対象】 野川水源地・恋ヶ窪用水
 ・野川水源地・恋ヶ窪用水を有効活用した景観まちづくり

凡例

公園・緑地	都市計画公園	
	整備済(概ね整備(8割以上)を含む)	■
	未整備(一部整備(8割未満)を含む)	□
	その他の公園緑地(都市計画基礎調査による)	■
公園誘致圏	整備済(一部整備を含む)	■
	未整備	□
	農地(都市計画基礎調査による)	■
	生産緑地地区	■
	文化財等	▲
	埋蔵文化財等	■

『大規模な公園や緑地の充実』への対策
『自然の豊かさを感じる空間の形成』への対策
【対象】 国分寺中央公園(日立製作所中央研究所内)
 ・事業者と連携しつつ樹林の適切な管理・保全と、将来における市民への開放に向けた協議の実施
 ・崖線の緑の保全と、これを有効活用した景観まちづくりの推進

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策
【対象】 公園空白地域
 ・既存の小規模公園、緑地、生産緑地などを活用した都市計画公園の再配置の検討

参考：市全域の生産緑地の推移

地区数(箇所)	面積(ha)
258	150.6
253	144.3
245	135.6
258	134.4

平成5年 平成10年 平成15年 平成20年

資料：国分寺市緑の基本計画 2011

『小規模な公園や緑地の市内各所への確保』への対策
【対象】 未整備都市計画公園(街区公園)
 ・未整備都市計画公園の整備推進

『魅力的な景観づくりの推進』への対策
【対象】 国分寺駅北口地区 駅周辺都市計画道路
 ・国分寺駅北口地区でのまちづくりと連動した、魅力的な景観を創出する規制等の推進
 ・都市計画道路の整備に併せた、街路樹による並木道づくりの推進

※1：都市公園とは、都市公園法に基づき地方公共団体または国が設置する公園・緑地。
 ※2：公園誘致圏空白地域とは、公園の規模に応じて設定されている各公園が対象とする誘致圏の範囲の線を引いた際、どの公園誘致圏にも当てはまらない地域。

『緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.24/市平均 4.26) 満足度 (2.21/市平均 2.24) 自由回答では、直接的な意見ではないものの「未整備道路の早期整備」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の中央にある東恋ヶ窪2丁目は、市内において木造建築物の割合が比較的高い地区です。

考察

木造の戸建て住宅が密集し、かつ住宅地内の道路幅員も十分ではないため、震災時の消火活動がやや困難とされており、災害発生時の消火活動や救急救命活動に支障をきたす可能性があります。こうした地域の実情を背景に「緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良」を強く求められています。
 このため、主な生活道路を対象に緊急車両の通行を想定した道路整備が必要です。

『火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.14/市平均 4.09) 満足度 (2.40/市平均 2.41) 自由回答では、直接的な意見ではないものの「未整備道路の早期整備」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の緊急輸送道路は、都道恋ヶ窪新田三鷹線、都道所沢府中線、都道小川山府中線があります。 国3・4・6号線の整備が進んでいますが、一部区間の整備が残っています。

考察

「火災の延焼を防ぐ広い道路の整備」が求められている背景には、都市計画道路の整備が進んでおらず、広い道路が少ないことがあげられます。特に、地区防災センター・広域避難場所に接続する道路は十分な広さがなく道路閉塞の可能性があります。
 このため、防災関連施設に近接する都市計画道路の優先的整備と沿道建築物の耐火性の向上が必要です。

『防災公園や、避難場所の充実』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (4.10/市平均 4.13) 満足度 (2.76/市平均 2.81) 自由回答では、「小学校区と異なる避難場所となっているのはおかしい」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区内の全ての市立小中学校は、地区防災センターに位置づけています。 地区北の市外に広域避難場所、地区東端に緊急避難場所があります。

考察

地区防災センターに隣接する都道をはじめとする道路は幅員が狭くなっています。また、「防災公園や避難場所の充実」が求められる中で、地区西部の西武国分寺線沿いには、防災関連の施設はありません。
 このため、地区西部での防災関連施設の確保と、地区防災センター等が有効に機能するよう、施設や周辺道路での対策が必要です。

『個々の建物の不燃化・耐震化の促進』に関する市民意向と地域の現状

市民意向	地域の現状
<ul style="list-style-type: none"> 重視度 (3.95/市平均 3.98) 満足度 (2.63/市平均 2.61) 自由回答では、直接的な意見はないものの「国分寺駅北口駅周辺の空地の発生している」、「空き家が発生している」といった意見が見られました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区の中央にある東恋ヶ窪2丁目は、市内において木造建築物の割合が比較的高い地区です。 地区内の第1種低層住居専用地域の戸建て住宅は9割弱です。 市内の住宅の内、新耐震基準制定（昭和56年）より前に建築された住宅は約2割です。

考察

個々の建物の不燃化・耐震化が強く求められていますが、木造住宅は、耐震性能・耐火性能が高くないため、地震による倒壊、火災延焼による被害の拡大が懸念されます。
 このため、耐火性等の高い建物への更新を促していくことが必要です。

市民意識調査において、重視度が高い上位の項目を対象に整理

考えられるまちづくりの方向性

『火災の延焼を防ぐ広い道路整備などの推進』への対策

【対象】 国3・4・7号線
国3・4・6号線

- 延焼遮断帯となる都市計画道路の優先的な整備の推進
- 道路沿道における耐火性の高い建築物への更新の促進

『個々の建物の不燃化・耐震化の促進』への対策

【対象】 地区防災センターに近接する住宅内道路

- 住宅内道路の道路幅員の確保（道路拡幅、壁面後退等）など、災害に強いまちづくりの推進
- 耐火性の高い建築物への更新の促進

『防災公園や、避難場所の充実』への対策

【対象】 地区防災センター

- 避難場所となる教育施設周辺街路の拡幅、周辺建築物の耐震化を推進
- 避難場所となる教育施設への誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの導入

『緊急車両が通行できるよう狭い道路を改良』への対策

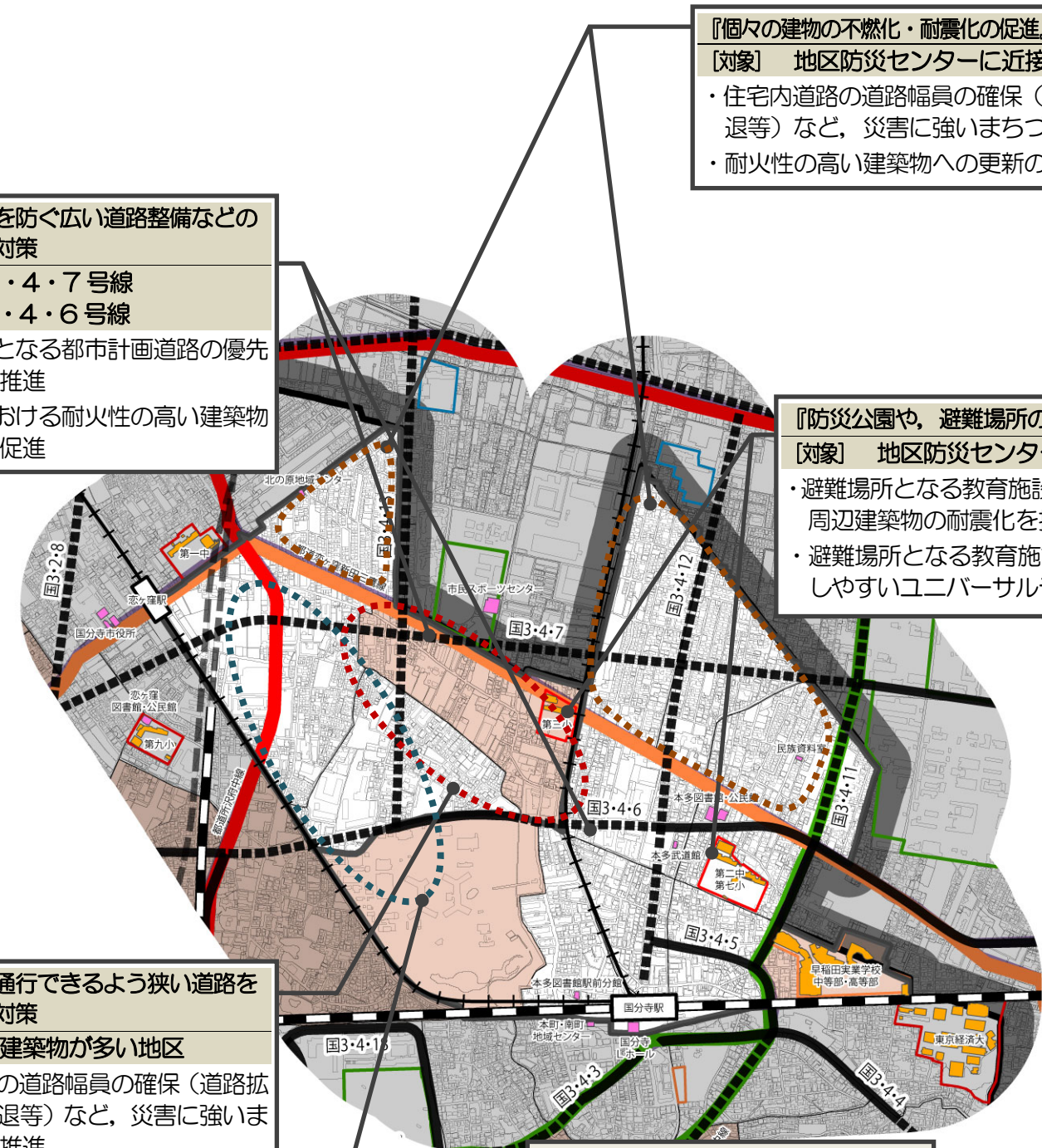
【対象】 木造建築物が多い地区

- 住宅内道路の道路幅員の確保（道路拡幅、壁面後退等）など、災害に強いまちづくりの推進

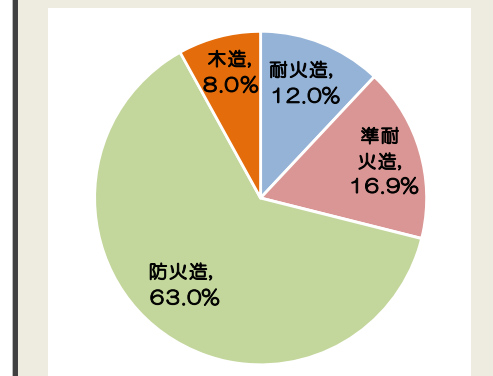
『防災公園や、避難場所の充実』への対策

【対象】 東恋ヶ窪3・4丁目地区

- 一時的な避難場所となる施設の確保、施設周辺建築物の耐震化を推進



参考：本地域の構造別建築物棟数の割合



凡例	
震災時の消火活動困難度がやや高い地区	■
木造建築物が多い地区(10%)	■
地区防災センター	□
広域避難場所	□
緊急避難場所	□
隣接市の避難場所	□
緊急輸送道路(1次)	—
緊急輸送道路(2次)	—
緊急輸送道路(3次)	—
整備済	—
未整備

資料：平成24年度土地利用現況調査